

1 福島県土の地学ガイド

福島県の地形や地質、その生いたちを考える場合に、単に福島県だけに目をとどめないで、東北日本での福島、さらに広く日本列島に占める福島という見方や、考え方で地学的なできごとを取扱うことが大切です。

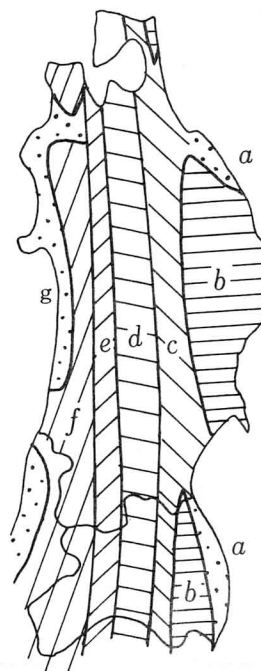
まず、大きく東北地方の地形と地質構造のあらましを見てみましょう。弓張りの形をした東北地方は、右図のように地形や地質の特徴から南北方向に並ぶブロック、即ち a～g 地形区に分けることができ、それらの地形的特徴は

- a : 北上山地・阿武隈山地の東側にある海岸平野や丘陵地
- b : 北上山地と阿武隈山地
- c : 北上・阿武隈山地と奥羽山脈との間の低地帯（盆地や平野）
- d : 奥羽山脈
- e : 奥羽山脈と出羽丘陵・越後山脈の間にある盆地列
- f : 出羽丘陵と越後山脈
- g : 出羽丘陵・越後山脈の西側の海岸平野や丘陵地

ここで、目を県内にもどし、県内の地形区と東北地方の地形と対比してみましょう。

- a : 浜通りの平野や丘陵地, b : 阿武隈山地, c : 中通りの低地帯（盆地列）
- d : 奥羽山脈, e : 会津・田島盆地, f : 越後山脈

このことから、福島県内に発達する地形は福島県独特のものでなく、東北地方に共通した地形を示していることがわかるでしょう。



東北地方の地形区